

平成12年度

小学校における 外国語（英語）活動の可能性

ーネイティブスピーカーとの交流活動を通してー

川崎市総合教育センター 小学校における外国語教育研究会議

小学校における外国語(英語)活動の可能性

—ネイティブスピーカーとの交流活動を通して—

小学校における外国語研究会議

研修員 佐藤 裕之 (川崎市立幸町小学校)

吉澤 寿一 (川崎市立古川小学校)

石川 奈緒美 (川崎市立百合丘小学校)

研修指導主事 小池 優一

I 主題設定の理由

中央教育審議会の答申を受けた新学習指導要領の告示により、2002年からスタートする「総合的な学習の時間」において、小学校から外国語活動を実施することが可能になった。

本研究会議ではどんな活動が可能かを探ってきた。子供たちの身の回りが国際化するなか、21世紀には日常生活レベルで諸外国や外国人との交流がさらに広がってくると思われる。そうしたことをふまえ、小学校段階の早い時期から外国人を含めた様々な人との交流を体験することは、頭だけで学ぶのではなく、体験的な学習を通して自然に自分と異なる考えを知り、それを共感をもって受け入れ相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意志を表現できる基礎を育成できると考える。また、早い時期に外国語に接することで言葉に対する興味・関心を持たせることもできると考える。

国際理解教育の一環として外国語(英語)活動が、今後さらに多くの市内の小学校で行われることを考えた場合、学習指導要領実施まで具体的にどんな活動が可能かを探ってみた。

研究を進めるに当たり、「総合的な学習の時間」でどのようなねらいや目的をもって外国語活動が可能になったかを改めて整理した。¹⁾

外国語会話等が小学校において導入されるまでの文部省の動き

1996年8月 中央教育審議会第一次答申において「総合的な学習の時間」の創設が提言された。

国際理解教育が総合的な教育活動であることを踏まえて、「総合的な学習の時間」を活動した取り組みも考えられよう。¹⁾

1998年7月 教育課程審議会答申において、小学校における外国語教育について記述された。

小学校における外国語の取扱いとしては各学校の実態等に応じ、「総合的な学習の時間」や特別活動などの時間において、国際理解教育の一環として、児童が外国語にふれたり、外国の生活や文化などに慣れ親しんだりするなど小学校段階にふさわしい体験的な学習活動が行われるようにする必要があると考える。(中略)

具体的な活動として、小学校において国際理解教育の一環としての外国語会話等が行われるときには、各小学校の実態等に応じ、児童が外国語に触れたり、外国の生活や文化などに慣れ親しんだりするなど小学校段階にふ

¹⁾ 中央教育審議会 第一次答申 1996年

さわしい体験的な学習活動が行われるようにすることが望ましい。²⁾

1998年12月 小学校学習指導要領が告示される。

1999年5月 『小学校学習指導要領解説 総則編』において「総合的な学習の時間」のなかの国際理解、外国語会話等に関して記述される。

具体的な学習活動としては、小学校段階にふさわしい歌、ゲーム、簡単な挨拶やスキット、ごっこ遊びなど音声を使った体験的な活動、作品交換や姉妹校交流など外国の子ども達との交流活動、ネイティブ・スピーカーなどとの触れ合いなどを積極的に取り入れ、外国語に慣れ親しませることや外国の生活・文化に触れ、興味・関心を持たせるようにすることなどが考えられる。

国際理解教育は異文化を知ることだけではなく、異文化を知ることを通して自国の文化を知り、さらに知識の習得だけを目的とするのではなく、行動する能力を習得することがねらいとされている。子供たちが、頭だけで学ぶのではなく、体験的な学習を多く取り入れて、実践的な能力や、資質、態度を育成していくことが求められている。こうしたねらいや目的などが、上記に示した一連の流れの中で再度確認できる。

Ⅱ 研究の内容

本研究会議では、以下に示した3項目を重点に進めた。

- ・年間カリキュラムを作成する。
- ・外来語を取り入れた活動案を作成、実施する。
- ・はじめて外国人講師との英語活動を実施するにあたり、手引を作成する。

また、昨年度の研究をふまえ英語活動を実施するに当たって以下のように重点をおいた。

- ・外国語指導助手（本研究ではALT）との直接的な体験、交流活動を中心にすすめる。
- ・「聞く」「話す」活動を中心にすすめる。
- ・多文化にふれる活動も工夫して取り入れる。
- ・ジャズチャンツなど英語のリズム活動を取り入れる。
- ・言語以外の表現活動（ジェスチャーなど）を積極的に活動に取り入れる。
- ・カタカナ語を活動の中に積極的に取り入れる。

1. 年間カリキュラムについて

昨年度までは、個々の活動案を収集、開発し、実践を積み重ねていく取り組みであった。今年度は、単発的なゲームなどが無計画に行われないように、年間の見通しを立ててカリキュラムを組み、ブラ

²⁾ 教育課程審議会答申 1998年

³⁾ 文部省『小学校学習指導要領解説 総則編』第3章第3節 1999年

ニングし、活動を実践してきた。

中学校・高等学校での教科としての外国語学習では、言語材料の積み上げになるが、小学校ではさまざまな活動を組み合わせ、体系的指導や系統性については特に考えなかった。

次に年度当初に計画し、実践した年間カリキュラムの一例を載せた。ALTの小学校への訪問日は実際に月1回が最大可能日数と考え、年間計画もそれに準じて作成した。

交流学習 年間活動計画案

S小学校 第3学年

No	月	ね ら い	学 習 活 動
1	4	Nice to meet you. ・英語の挨拶に慣れる ・ALTの話聞き取る	・英語で挨拶する ・自己紹介のしかたを知り、やってみる ・フルーツバスケットで遊ぶ
2	5	Let's make a name tag. ・自分たちの名札作りをする	・いくつかの種類の色の名前を知る ・What --- do you like?に答えられる ・ALTの質問に答えながら名札をつくる
3	6	What do you see? ・絵本(big book)を通して英語に親しむ	・簡単な英語の絵本をALTに読んでもらう ・カードを使った質問に答える
4	7	Let's play bowling. ・ボウリングを通して数字の言い方を知る	・英語で1から10までの数字を知る ・ボウリングをして、倒したピンの数を英語で言うてみる
5	9	Let's play a game. ・ALTとゲームを楽しむ	・日本の遊びを紹介して一緒にゲームをする ・ビンゴゲームをする
6	10	Do you have a --- ? ・ALTや友だちと会話を楽しむ	・ALTや友だちに質問したり、されたりしながら会話を楽しむ ・簡単な劇をする
7	11	What's this? ・質問されたことに自分で考えて答える	・自分の持っている物を相手に伝える ・ALTや友だちと一緒にダンスを踊る
8	12	Humberger, please. ・英語で買い物をする	・英語を使ってハンバーガーの買い物ゲームをする
9	1	Let's play sports. ・ALTと一緒にスポーツをする	・英語で元気に声をだし、楽しいスポーツをする
10	2	Let's cook.	・一緒におやつ作りをして楽しむ ・ALTとたくさん話すことに挑戦する
11	3	Thank you for everything. ・ALTに一年間の感謝の気持ちを表す	・ALTとお別れのパーティーを開く ・これまでに学習した英語を使って出し物を見せる

2. 外来語、カタカナ語を活動案に取り入れて

子供たちは、日常生活で無意識に日本語以外の言葉を聞いたり、見たりしている。ハンバーガー、フライドチキン、カレーライスなど、カタカナ語に囲まれて生活しているといっても過言ではない。子供たちに何らかの知識に基づいた語彙等を手がかりにして英語活動を促進させようとするとき、カタカナ語、外来語を利用することは有効だと考えた。

川崎市の小学校で使用している検定教科書に用いられているカタカナ語、そのうち英語がルーツの外来語を抽出してみた。その結果以下の様になった。

国語	6年上下	148語
社会	6年	69語
社会	5年	154語
家庭	6年	140語

実際に外来語を意識して計画し実施した活動の一例を以下に示す。

5年生「ハローワールド」活動案

題材名：ハロウィン・パーティーをしよう！

めあて：英語表現を使ってALTとインタラクションを楽しむ

	学習内容と活動	担任(HT)とALTの支援 / 英語表現
導入	<ul style="list-style-type: none"> ALTとHTの寸劇を観る 	<ul style="list-style-type: none"> ALTは、ドラキュラに扮する ALTとHTとでいくつかの外来語を取り入れながら寸劇をする 新出語：地球儀 globe 野球、ボクシングのグローブ glove 手袋 glove 新出語の発音が、英語では、日本語と違うことを練習をしながら理解させる
	<ul style="list-style-type: none"> Halloweenについての説明を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ALTは、ジェスチャーを加えながら説明する HTは、必要に応じてALTの説明の補助をする
活動	<ul style="list-style-type: none"> "BINGO"を一緒に歌う ALTの言う数字を聞いて、グループをつくり、動きながら歌を楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> コーラス毎にALTが数字を英語で言い、その人数で集まり、手をたたきながら歌を楽しませる
	<ul style="list-style-type: none"> 友だち同士フェイスペインティングし、ハロウィン・ゲームの準備をする カードゲームをする 自分がdog, cat, Kato-kun, Yosheeになり、友だちからカードをもらう 	<ul style="list-style-type: none"> I am a dog. I like fried chicken. I am Kato-kun. I like hamburgers. I am Yoshee. I like potatoes. ALT, HTは、ゲームに参加しながらサポートする
	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをする 	<ul style="list-style-type: none"> Thank you for joining us. Good-bye. See you again.

Ⅲ 研究のまとめ

1. 研究の成果

ALTとのチーム・ティーチング

ALTが小学校でのこうした英語活動に参加し月1～3回の活動の実践を重ねてきた。ALT側も教え込みでなく、外国語に親しませる目的の活動を理解し、少しずつではあるが、各小学校でチーム・ティーチングの形態ができつつある。ただし、この段階に至るまでのALTと日本人教師との十分な事前の話し合いが必要なことも付け加えておきたい。

活動集について

「英語活動実践事例集」、「英語の歌とゲーム・活動アイデア集」を作成し情報提供を行った。

2. 今後の課題

チーム・ティーチングについて

本研究では、担任と外国語指導助手（ALT）との2者でのチーム・ティーチングをおこなってきた。外国人と接し、英語にふれる活動をおこなうことは、小学校段階の子供たちにとっては大きな驚きであり、喜びでもある。それは、活動実施後の子供たちの感想等からも明らかである。英語活動を実施する際に考えられる指導者体制は、以下に示す組み合わせが考えられる。

A. HRT + ALT + JTE
B. HRT + ALT
C. JTE + ALT
D. JTE + HRT
E. JTE + (地域) ボランティア
F. JTE
G. HRT

※HRT（学級担任）
JTE（日本人英語教師）
ALT（外国語指導助手）

A. が望ましい形態と考えられる。また、体験的な学習をすすめる場合には、A. からC. の形態でALTの存在は不可欠である。ネイティブ・スピーカーとのチーム・ティーチングの授業時間が、十分確保できないこと。また、今後、多くの市内小学校でこうした活動が実施されていく場合には、D. からG. の活動案についても考えていく必要がある。

だれでも・どこでも使える活動案の提供

2000年度に川崎市内全校と各種教育機関がKEINS ネットでネットワーク化し、情報交換がさらに容易になった。今後さらに実践のフィルターを通したアイデア、活動案等をネットワークで情報提供していきたいと考える。加えて、川崎市立小学校国際教育研究会との連携も大事にしていきたいと考える。

研修会の開催

活動事例集を基に研修会、授業研究会等の開催を計画し多くの小学校の先生方に具体的に活動の意

義や方法等を伝えていければと考える。

おわりに

小学校での英語活動は、英語の専科でない担任の先生とALTとの協同作業による活動である。最初は言葉でなく、とにかく交流してみることが大事である。そうすることで次第に分かり合えるようになる。そのことが次に子供たちは、英語を知りたい意欲につながっていく。現在まで積み重ねられてきた実践は、子供たちに体験的に感じさせることができていると考える。

最後になりましたが、本研究を進めるにあたり、適切なお指導・ご助言をいただきました先生方、研究をご支援していただいた研修員所属校の校長先生ならびに教職員の皆様に心からお礼を申し上げます。一年間の最後の子供たちの感想のいくつかを紹介し、お礼にかえさせていただきます。

去年は、駅で外国人に声をかけられたときすぐ逃げてしまいました。今は、駅で外国の人と会っても話せるような気がします。(Y校 6年女子)

はじめてALTの先生に会った時、「あ～いやだな～」って思っていたけど、今はどんどん意けんを言って「なんだか自分に自信がわいてきたような気がする。」と思ったことがなん回もあります。(S校 5年男子)

【参考文献】

- | | |
|---|-------|
| 『小学校学習指導要領解説 総則編』 文部省 | 1999年 |
| 『Practical Handbook for Elementary School English Activities』 文部省 | 2000年 |
| 『英語指導方法改善の推進に関する懇談会 報告』 文部科学省 | 2001年 |
| 伊藤嘉一他『小学校英語学習 レディーゴー』 ぎょうせい | 2000年 |
| 「研究紀要」第13号 川崎市総合教育センター | 2000年 |
| 「東京都文京区立誠之小学校第4年次研究開発実施報告書」 | 2000年 |
| 「幸せの町から世界へーやさしく たくましく ひろくー」 川崎市立幸町小学校 | 2001年 |
| 川崎市教育委員会研究推進校 国際理解教育を核とした総合的な学習の時間 研究紀要 | 2001年 |
| 「NHK学校放送 エイゴリアン」1学期 NHK出版 | 2000年 |
| 「NHK学校放送 エイゴリアン」2学期 NHK出版 | 2000年 |
| 『小学校検定教科書 国語 6上下』 光村出版 | 1999年 |
| 『小学校検定教科書 社会 5上下』 教育出版 | 1999年 |
| 『小学校検定教科書 社会 6上下』 教育出版 | 1999年 |
| 『小学校検定教科書 家庭 6』 東京書籍 | 1999年 |

【指導助言者】

- | | |
|---------------|-------|
| 東京学芸大学講師 | 太田美智彦 |
| 私立国本小学校 教諭 | 入江 潤 |
| 私立成城学園初等学校 講師 | 渡辺麻美子 |